

第1学年

# ふしぎないきものをつくろう

～感覚を働かせてイメージを広げる～

めあて ・楽しみながら、紙粘土で海のいきものをつくる。  
・手などの感覚を働かせながら、イメージを広げ、工夫して表している。

準備物 ・紙粘土、目玉、海や魚の写真



〈制作の様子…どんな生き物をつくろうか考えながら試している。〉



〈できあがった作品…つくりながら、どんどん発想がわいてくるようだ。〉

学習の流れ	実践上の留意点
○海の中のふしぎな生き物のイメージを広げる。	・世界のいろいろな海や川・魚などの写真を見て、今まで見たこともないような「ふしぎないきもの」を想像し、話し合わせる。
○自分が想像したいきものをつくる。	・つまみ出す・接合する・伸ばすなどの粘土の基本的な扱いについて、実際にやりながら伝える。
○つくりながら思いついたことを付け足すなどイメージを広げる。	・作品への思いを児童に問いかけたり、話し合ったりしながら、新たな発想を得ることを支援する。
○ブルーシートの上に「ふしぎないきもの」を並べて、みんなで見せ合う。	・お互いの作品の工夫したところやよいところを見つけ合ったり、伝え合ったりする。 ・つくったものの他にも、石を置いたり昆布を布で作ったりして海の中の雰囲気が出るようにする。

